

令和6年度 山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業【新庄市】

新庄市は、山形県の北東部にある街です。市の森林面積は120.6km²で市の総面積の約54%を占めています。市東部の陣峰市民の森は 四季折々の表情を見せる風光明媚な約50haの森林公園です。遊歩道は比較的平坦で初心者や家族連れにもおすすめです。

○活動内容①【湿地帯保全活動】

福宮チョウセンアカシジミを守る会との協働事業

森林保全の観点から、林内の整備を進めるとともに、県天然記念物でもあるチョウセンアカシジミの保全を図ることを目的に地域の有志が日々活動しています。本年度は、豪雨による被害も見受けられましたが、保全箇所の整備や生態調査、観察会の開催等、例年以上に保全・調査活動に取り組むことができました。

チップ敷き



地元小学校との交流



観察会用看板設置



チョウセンアカシジミ（成虫）



○活動内容②【森林学習会】

地域の子供たちに森林の様々な魅力を体験してもらうことで、森林に興味を持ち、森林が持つ様々な働きについて学んでもらうことを目的に、毎年新庄市内の中学1年生及び小・義務教育学校5年生を対象とした森林学習会を行っています。



○活動内容③【未来の森づくり人材発掘事業】

伐採(VR)体験キットや薪割り体験を通じ、子供たちに実際の伐採に近い体験をしてもらうことで、森林整備の意味や効果、森づくりへの興味を持つ機会を

○活動内容④【県産材利用促進事業】

県産材を利用して木製階段を製作し、森林学習会時に生徒たちにチップを敷いてもらうことで県産材の利用及び陣峰市民の森の利用促進をはかりました。

